



安全データシート
ALUMINIUM WEAR COMPOUND HARDENER

項目1：化学品及び会社情報

1.1. 製品特定名

製品名 ALUMINIUM WEAR COMPOUND HARDENER

1.2. 化学品の推奨用途及び使用上の制限

特定された用途 硬化剤。

1.3. 安全データシートの供給者の詳細

供給者

ITW Performance Polymers
Bay 150
Shannon Industrial Estate
Co. Clare
Ireland
V14 DF82
353(61)771500
353(61)471285
mail@itwpp.com

1.4. 緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 +44(0)1235 239 670 (24h)

項目2：危険有害性の要約

2.1. 化学物質又は混合物の区別

物理化学的危険性 区分外

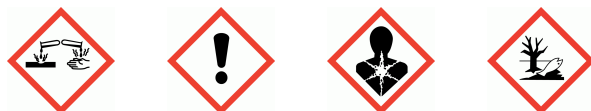
健康有害性 急性毒性 区分4 - H312 皮膚腐食性 区分1B - H314 眼に対する重篤な損傷性 区分1 - H318 皮膚感作性 区分1 - H317 生殖毒性 区分2 - H361fd

環境有害性 水生環境有害性、慢性毒性 区分2 - H411

健康有害性 腐食性。長期にわたり接触すると重篤な眼および組織の損傷を引き起こす。

2.2. ラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H312 皮膚に接触すると有害。
H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H361fd 生殖能への悪影響のおそれの疑い。胎児への悪影響のおそれの疑い。
H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

ALUMINIUM WEAR COMPOUND HARDENER

注意書き

P261 蒸気 / スプレーの吸入を避けること。
 P273 環境への放出を避けること。
 P280 保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。
 P303+P361+P353 皮膚 (又は髪) に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。
 皮膚を流水 / シャワーで洗うこと。
 P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズ
 を着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 P308+P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断 / 手当てを受けること。

含有物

3, 6 - ジアザオクタン - 1, 8 - ジイルジアミン, 2 - (ピペラジン - 1 - イル) エチル
 アミン, NONYLPHENOL

2.3. 他の危険有害性

この製品はPBTまたはvPvBに分類される物質を一切含まない。

項目3: 組成及び成分情報

3.2. 混合物

3, 6 - ジアザオクタン - 1, 8 - ジイルジアミン	30-60%
CAS番号: 112-24-3	

分類

急性毒性 区分4 - H312
 皮膚腐食性 区分1B - H314
 眼に対する重篤な損傷性 区分1 - H318
 皮膚感作性 区分1 - H317
 水生環境有害性、慢性毒性 区分3 - H412

2 - (ピペラジン - 1 - イル) エチルアミン	5-10%
CAS番号: 140-31-8	

分類

急性毒性 区分4 - H302
 急性毒性 区分4 - H312
 皮膚腐食性 区分1B - H314
 眼に対する重篤な損傷性 区分1 - H318
 皮膚感作性 区分1 - H317
 水生環境有害性、慢性毒性 区分3 - H412

NONYLPHENOL	1-5%
CAS番号: 25154-52-3	
毒性乗数 (M) (急性) = 1 毒性乗数 (M) (慢性) = 1	

分類

急性毒性 区分4 - H302
 皮膚腐食性 区分1B - H314
 眼に対する重篤な損傷性 区分1 - H318
 生殖毒性 区分2 - H361fd
 水生環境有害性、急性毒性 区分1 - H400
 水生環境有害性、慢性毒性 区分1 - H410

全ての危険有害性情報の全文は項目16に示されている。

ALUMINIUM WEAR COMPOUND HARDENER

項目4：応急措置

4.1. 応急措置の説明

一般情報	事故が起きたときあるいは気分が悪い場合、直ちに医師の診察をうける（できればラベルを見せる）。ガス/フューム/を吸入してはならない。目への接触を避ける。
吸入	直ちに被災者を空気の新鮮な場所に移すこと。何らかの不快感が続く場合には医師の手当てを受けること。
経口摂取	無理に吐かせないこと。多量の水を飲ませること。医師の手当てを受けること。
皮膚接触	被災者を汚染源から移動させること。皮膚を石鹼と水で十分に洗うこと。洗った後も刺激が続く場合には医師の手当てを受けること。
眼接触	コンタクトレンズがあれば取り外し顔を大きく広げること。少なくとも15分間洗い続けた後に医師の手当てを受けること。洗った後も刺激が続く場合には医師の手当てを受けること。

4.2. 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

一般情報	記載されている症状の重症度は濃度および暴露の長さに依存して変化する。
吸入	製品は感作性物質を含む。
経口摂取	この製品は腐食性である。口、食道および胃の化学熱傷を引き起こすおそれがある。高濃度の化学物質を飲み込むと重篤な内部損傷を引き起こすおそれがある。胃痛または嘔吐を引き起こすおそれがある。
皮膚接触	この製品は強腐食性である。製品は感作性物質を含む。濃縮された化学物質と接触すると重篤な皮膚損傷を引き起こすおそれがある。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。長期にわたりまたは反復して皮膚に接触すると刺激、発赤および皮膚炎を引き起こすおそれがある。
眼接触	この製品は強腐食性である。高濃度の化学物質に接触すると非常に急速に重篤な眼の損傷を引き起こし、ことによると失明するおそれがある。眼に重度の障害を与えるリスクがある。

4.3. 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

医師に対する特別な注意事項 特定の推奨事項はない。懸念がある場合には、直ちに医師の手当てを受けること。

項目5：火災時の措置

5.1. 消火剤

適切な消火剤 以下の消火剤を使用して消火すること：水。泡消火剤。粉末消火剤。二酸化炭素（CO₂）。

5.2. 化学品から生じる特定の危険有害性

特有の危険有害性 火災ガスまたは蒸気の吸入を避けること。

5.3. 消火を行う者の保護

消火活動中の保護措置 風上に向かいヒュームを避ける。火災を広げるので棒状水を消火剤として使用しないこと。封じ込めにより流去水を管理して下水道および水路に流入させないようにすること。

消火を行う者を保護するための特別な保護具 陽圧自給式呼吸器（SCBA）および適切な保護衣を着用すること。

項目6：漏出時の措置

6.1. 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

人体に対する注意事項 皮膚および眼との接触を避ける。この安全データシートのセクション8に記載の防護衣を着用すること。適切に換気すること。

6.2. 環境に対する注意事項

ALUMINIUM WEAR COMPOUND HARDENER

環境に対する注意事項

流出物または流去水が排水管、下水道または水路に入るのを防止すること。水路への流出または制御不能の放出は直ちに環境省またはその他の管轄規制組織に報告しなければならない。

6.3. 封じ込め及び浄化の方法及び機材

浄化方法

不燃性、吸収性の材料に流出物を吸収させること。回収し適切な廃棄物用容器に入れて確実に密封すること。回収した流出物を入れた容器には必ず正確な内容物と危険有害性シンボルを標示しなければならない。

6.4. 他の項目の参照

他の項目の参照

この安全データシートのセクション8に記載の防護衣を着用すること。

項目7：取扱い及び保管上の注意

7.1. 安全な取扱いのための予防措置

使用上の予防措置

換気のよい場所でのみ取り扱う。適切に換気すること。蒸気の吸入を避けること。皮膚および眼との接触を避ける。製品使用中は、飲食及び喫煙してはならない。適切な換気および/または呼吸マスクを着用せずに密閉空間内で使用しないこと。優良個人衛生手順を実行しなければならない。

7.2. 混蝕禁止物質を含む、安全な保管条件

保管上の予防措置

密封した、元の容器で乾燥した涼しい場所に保管すること。混蝕危険物質（セクション10を参照）から遠ざけて保管すること。

7.3. 特定最終用途

特定最終用途

この製品の意図された使用はセクション1で詳しく述べられている。

項目8：ばく露防止及び保護措置

成分に関する注釈

成分に対する暴露限界値は知られていない。

8.2. ばく露防止

保護具



適切な設備対策

適切な全体換気装置および局所排気装置を設けること。

眼 / 顔面の保護

次の保護具を着用しなければならない：化学物質飛沫ゴーグルまたは保護面。顔面に密着する安全眼鏡。眼および顔面を適切に保護する個人用保護具を着用しなければならない。

手の保護

次の材料で作られた保護手袋を着用すること：ゴムまたはプラスチック。耐薬品性、不浸透性の手袋の着用が推奨される。手を化学物質から保護するために、化学物質に対する不浸透性および分解耐性が証明されている手袋を着用しなければならない。選択される手袋は少なくとも8時間の破過時間を有していなければならない。手袋の材料の破過時間は手袋の製造業者毎に異なる場合がある。

その他の皮膚及び身体の保護

皮膚に触れないようにする。接触する場合にはエプロンまたは防護衣を着用すること。

衛生措置

洗眼ステーションおよび安全シャワーを設けること。飲食物、動物用飼料から離して保管する。優良個人衛生手順を実行しなければならない。職場を離れる前に手と他の汚染された身体の部位を石鹸と水で洗うこと。製品使用中は、飲食及び喫煙してはならない。毎日作業場を出る前に作業服を交換すること。

ALUMINIUM WEAR COMPOUND HARDENER

呼吸器の保護

換気が不十分な場合には、適切な呼吸用保護具を必ず着用すること。次のカートリッジを装着した呼吸マスクを着用すること：ガスフィルタ、タイプA2。有機蒸気フィルタ。呼吸マスクの選択は必ず暴露レベル、製品の危険有害性および選択した呼吸マスクの安全作業限界に基づいて行わなければならない。呼吸マスクが顔面に密着することおよびフィルタが定期的に交換されていることを点検すること。意図した使用に適した交換可能な吸収缶を装備したハーフマスク式およびクォータマスク式の呼吸用保護具を使用しなければならない。

項目9：物理的及び化学的性質

9.1. 物理的及び化学的性質に関する情報

外観	ペースト。
色	クリーム色。
臭い	アミン臭。
pH	pH (濃厚溶液) : 10.5 @ 20 °C
初留点及び沸騰範囲	>232°C @
引火点	>93°C
蒸気圧	<0.01 mmHg @ °C
相対密度	0.98 @ 20 °C
溶解度	水可溶性。
その他の情報	データ無し。

項目10：安定性及び反応性

反応性	酸。強酸化剤。
安定性	標準周囲温度および推奨条件で使用した場合は安定。
危険有害性反応危険性	データ無し。
避けるべき条件	熱、火花およびその他の着火源を避けること。長時間にわたる過剰な熱を避けること。高温または直射日光への暴露を避けること。
混触危険物質	次の物質との接触を避けること：酸。酸化剤。
危険有害な分解生成物	火災または高温は以下を生成する：含窒素ガス (NO _x)。次の物質の酸化物：一酸化炭素 (CO)。二酸化炭素 (CO ₂)。以下の蒸気/ガス/ヒューム：アンモニアまたはアミン。

項目11：有害性情報

11.1. 有害性情報

急性毒性 - 経口

急性経口毒性推定値
(ATE) (mg/kg) 5,000.0

急性毒性 - 経皮

急性経皮毒性推定値
(ATE) (mg/kg) 1,929.82

吸入

この製品からの蒸気を吸入すると危険有害性のおそれがある。

ALUMINIUM WEAR COMPOUND HARDENER

経口摂取	飲み込むと有害。
皮膚接触	皮膚を通して吸収されるおそれがある。長期にわたりまたは反復して暴露すると重篤な刺激を引き起こすおそれがある。皮膚接触により感作を引き起こすことがある。敏感な個人に感作またはアレルギー性反応を引き起こすおそれがある。
眼接触	眼に重度の障害を与えるリスクがある。
急性及び慢性健康危険	火傷を引き起こす。
進入経路	吸入 皮膚吸収 摂取。皮膚および/または眼との接触
標的臓器	長期にわたるまたは反復した暴露は次の悪影響を引き起こすおそれがある：眼に重度の障害を与えるリスクがある。肝臓の損傷を引き起こすおそれがある。腎臓に損傷を引き起こすおそれがある。中枢神経系および/または末梢神経系の損傷。

項目12：環境影響情報

生態毒性	環境への放出を避ける。製品は水生生物に対して毒性かつ水生環境中で長期継続的悪影響を引き起こすおそれのある物質を含む。
毒性	水生生物に猛毒性がある。
<u>12.2. 残留性・分解性</u>	
残留性・分解性	この製品の分解性についてのデータは無い。
<u>12.3. 生体蓄積性</u>	
生体蓄積性	生体蓄積性について利用可能なデータ無し。
<u>12.4. 土壌中の移動性</u>	
移動性	製品は水に溶解する。排水管または水路あるいは地表へ放出しないこと。
<u>12.6. 他の有害影響</u>	
他の有害影響	データ無し。

項目13：廃棄上の注意

<u>13.1. 廃棄上の注意</u>	
一般情報	廃棄物を取り扱う際には、製品の取り扱いに適用される安全措置を考慮しなければならない。
廃棄方法	現地の廃棄物管理当局の規定に従い認可された廃棄物廃棄物投棄地点に廃棄物を廃棄すること。
廃棄物クラス	08 04 99

項目14：輸送上の注意

<u>14.1. 国連番号</u>	
情報は要求されていない。	
国連番号 (道路輸送/鉄道輸送)	1760
国連番号 (IMDG)	1760
国連番号 (ICAO)	1760
<u>14.2. 品名 (国連輸送名)</u>	
情報は要求されていない。	

ALUMINIUM WEAR COMPOUND HARDENER

品名 (国連輸送名) (道路輸送/鉄道輸送) CORROSIVE LIQUID, N.O.S. (TRIETHYLENETETRAMINE, NONYL PHENOL)

品名 (国連輸送名) (IMDG) CORROSIVE LIQUID, N.O.S. (TRIETHYLENETETRAMINE, NONYL PHENOL)

品名 (国連輸送名) (ICAO) CORROSIVE LIQUID, N.O.S. (TRIETHYLENETETRAMINE, NONYL PHENOL)

14.3. 国連分類 (輸送における危険有害性クラス)

情報は要求されていない。

道路輸送/鉄道輸送クラス 8

道路輸送/鉄道輸送分類コード C7

道路輸送/鉄道輸送ラベル 8

IMDGクラス 8

ICAOクラス / 区分 8

輸送ラベル



14.4. 容器等級

情報は要求されていない。

道路輸送/鉄道輸送容器等級 II

IMDG容器等級 II

ICAO容器等級 II

14.5. 海洋汚染物質

環境有害物質 / 海洋汚染物質
該当せず。

14.6. 使用者のための特別予防措置

情報は要求されていない。

非常措置指針 (EmS) F-A, S-B

危険物識別番号 (道路輸送/鉄道輸送) 80

MARPOL73/78 附属書II及び IBCコードによるばら積み輸送 情報は要求されていない。

項目15: 適用法令

項目16: その他の情報

改訂日付 2018/04/03

改訂版 5

破棄日付 2015/06/09

ALUMINIUM WEAR COMPOUND HARDENER

危険有害性情報の全文

- H302 飲み込むと有害。
- H312 皮膚に接触すると有害。
- H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。
- H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
- H318 重篤な眼の損傷。
- H361fd 生殖能への悪影響のおそれの疑い。胎児への悪影響のおそれの疑い。
- H400 水生生物に非常に強い毒性。
- H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。
- H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性。
- H412 長期継続的影響によって水生生物に有害。

この情報は明示されている特定の物質のみに関連するものでありこの物質を他の何らかの物質と併用したり何らかのプロセスに使用した場合には有効でない場合があります。上記の情報は、弊社の知識および確信のおよぶ限り、標示されている日付の時点において正確かつ信頼性の高い情報です。しかしながら、その精度、信頼性または完全性に関して一切の保証、補償あるいは表明を行うものではありません。各自の特定用途に対する上記情報の適合性に関して確認を行うことは使用者の責務です。